

令和3年度補助金等評価表

1補助金の概要

補助金名称	住宅雪対策補助金										
補助金の性格	団体・個人への事業費補助					始期	H28		終期	-	
予算事業名	住宅雪対策費					(事業コード)		082105			
所管部署	建築部			建築総務課			係	電話番号	内線 5741		
交付先(団体,個人等)	個人等(市税の滞納のない者)										
交付目的	(対象) 誰,何に対して	市内にある住宅の居住者及び所有者(法人含む)									
	(意図) どういう状態にしたい	冬期における快適で安全な住生活が実現した状態									
対象事業等の内容	融雪施設(融雪槽,ロードヒーティング)の整備費用,雪対策のための住宅改修費用の一部を補助する。										
積算方法	補助の対象となる工事費が30万円以上のものに対し,対象工事費の3分の1を補助する。(一律10万円)										
事業量指標と過去5年間の実績	① 補助金交付件数					② 補助金交付総額					単位:千円
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
	209	201	205	396	314	30,000	29,720	30,000	39,600	31,400	
成果指標と過去5年間の実績	① 雪対策がされた住宅の増加数					② 工事費総額					単位:千円
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
	209	201	205	396	314	173,532	199,091	186,619	358,404	314,964	

2収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越						
	市補助金	29,720	30,000	39,600	31,400	40,000	
	協議会負担						
	受益者負担	169,371	156,619	318,804	283,564	80,000	
	その他						
	収入合計	199,091	186,619	358,404	314,964	120,000	
	市補助率(%)	14.9%	16.1%	11.0%	10.0%	33.3%	
支出合計	199,091	186,619	358,404	314,964	120,000		
	うち食糧費,交際費						
次年度繰越							
市負担額	一般財源	29,720	15,000	21,600	9,080	22,000	
	特定財源		15,000	18,000	22,320	18,000	
	人件費	正職員	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		人工金額	7,205	7,282	7,369	7,366	7,466
		臨時・嘱託/会計年度任用職員	1,296	1,298	1,386	1,448	1,392
	その他事務費	102	95	87	145	156	
合計	38,323	38,675	48,442	40,359	49,014		
受益対象者数	201	205	396	314	400		
補助金単位コスト(単位:円)	190,662	188,659	122,328	128,532	122,535		
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない					
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりにになっている ◇ 会計処理が適正である ◇ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◇ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 旭川市住宅雪対策補助金交付要綱に則り適切に審査を行っている。					

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価	
1 補助金 交付基準 との 適合性	(1)対象経費	◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外 ◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	■ 合致する
		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
	(2)受益者負担	◆ 適正な負担を設定 ◆ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	■ 合致する
		◇ 上記以外	□ 合致しない
	(3)補助率の参考 基準	◆ 団体 1/2以内 ◆ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	■ 合致する
		◇ 上記以外	□ 合致しない
	(4)見直し期間 (終期設定)	◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満
		◇ 奨励目的の補助、終期を設定 ◆ 終期末設定で、補助継続4年以上	■ 同一団体、奨励目的補助ではない(対象外) □ 同一団体補助だが、見直し設定していない □ 奨励目的補助だが、終期を設定していない
	(5)交付規程 (支出根拠)	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
		◇ 上記以外	□ 合致しない
	(6)支出を証する 書類の添付	◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有 ◇ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	□ 合致する (※左欄2項目とも適合)
◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◆ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)		■ 概ね合致する	
◇ 上記以外		□ 合致しない	
2 公益性	(この補助金の公益性を、具体的に記入する) 広く一般市民を対象としており、直接効果が行き渡っていることから、公益性は高い。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない	
	(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する) 寒冷積雪地である旭川において生活上の雪の対策は喫緊の課題であり、費用負担も小さくないことから、住宅の雪対策のための補助の必要性は高い。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない	
4 効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する) 補助金交付件数が毎年200件を超える中、利用者を対象としたアンケート調査で、雪処理が楽になったと87%が回答、冬の暮らしの不安が減ったと54%が回答していることから、冬期における快適で安全な住生活の確保に寄与している。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない	
	5 その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。 (6)件数膨大なため、実績報告時に写真の提出を求めることにより、疑義あるものや写真での確認が困難なものを除き実地調査を省略している。	

4平成28年度行政評価への対応状況等
(行政評価)

補助金名称(当時)	住宅雪対策補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
見直し	他の住宅改修補助との整合性を図りながら、補助金額や補助要件について再精査するとともに、所得制限の導入について検討すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
平成30年度、平成31年度	平成30年度:補助要件を再構成した結果、特定財源の確保が可能となった。平成31年度:補助限度額の見直しにより、前年度比の補助件数を増とした。
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	予算が年度で変動することによって、抽選倍率の差が生じる。
解決に向けた取組	安定的な財源の確保。

6全体的評価

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	冬期における融雪施設の整備や雪対策のための住宅改修により、市民が安全に暮らせる生活環境を確保できる。
外部評価		
2次評価		

結果欄:継続(現行どおり)、見直し(金額や金額の増減以外の見直し)、終了(自然減を含む)

参考資料

1 補助金の名称

補助金名称	住宅雪対策補助金
-------	----------

2 類似・関連事業の状況(旭川市・国・道・民間等)

事業名	該当なし	実施主体	-
概要	-		
上記事業との統合の可能性(市単独事業の場合)		<input type="checkbox"/> ある	<input type="checkbox"/> ない
説明	-		

3 他市の実施状況

市の名称	事業内容・積算・対象者など

注: 他の中核市や道内主要都市における類似事業について, その内容をできるだけ2つ以上記入すること。別紙による添付可。